

2018年度

事業報告書

特定非営利活動法人 シニア演劇ネットワーク

1 事業の成果

初めての島しょ部公演は、関わった劇団かぶつ、かんじゆく座の活動範囲を広げただけでなく、演劇によって、知らない土地の人と関わることを体験できた貴重な機会となった。青ヶ島公演のみ、次年度への持ち越しとなった。ホームページを一新したこと、また担当者をきめ、座員に更新を任せたとこ、ホームページ経由の問い合わせが増えた。中核団体かんじゆく座の公演は、公演回数を増やしてみたが、全体の集客の伸びはわずかだった。観劇支援は広範囲にわたって需要があり、わずかながら広がりを感じている。収入は、助成金に頼る部分が大きくなっているが、かんじゆく座の集客による収入を増やすことが、法人の存在意義を明確にするうえでも望ましい

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 8,536 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
全国シニア演劇大会事業	全国シニア演劇大会の企画運営事業	6月9日～30日	青ヶ島、大島、三宅島	3名	賛助会員 観客	32名 300名	2,898千円
情報収集提供事業	全国のシニア劇団に関する情報の収集提供事業	7月、12月、3月	新宿区 全国へ	2名	機関紙希望者、過去の観客	4,500名	265千円
俳優活動の紹介事業	シニアのアマチュア俳優の活動の場の紹介事業	随時	随所	2名	かんじゆく座員	2名	85千円
劇団事業	シニア劇団の運営事業	通年 公演は5月23～26日	新宿区、中野区	5名	かんじゆく座員、観客	座員 32名、観客 841名	5,132千円
ワークショップ事業	シニア向けの演劇ワークショップ開催事業	今期活動無し					0千円
観劇支援事業	身体の老化・障害によって観劇が困難な方への支援事業	8,9,10,1,5月	豊島区 世田谷区 山形市 横浜市 新宿区 中野区	1名	視覚障害者	43名	136千円
販売事業	シニア劇団の関連グッズ販売	随時	中野区	8名	観客等	250名	402千円